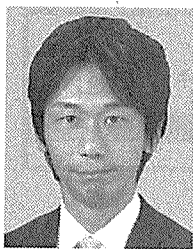


羽ばたけ 中小企業



後藤大介社長

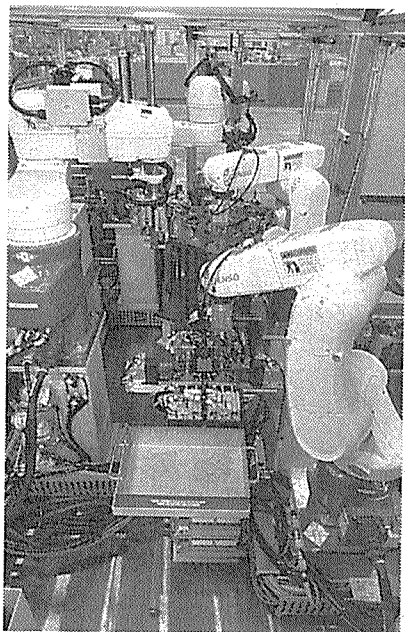
中国子会社は現在、大連、天津、佛山の3カ所にある。日本で培った顧客仕様に応じた製品開発力を強みに、食品や電機のほか、トヨタ系以外の日系メーカーなど

新日本工業

新日本工業(後藤大介社長)は、デンソーを中心とするトヨタ自動車グループ各社のFA(工場自動化設備)の設計・製作を手がけている。取引先の海外進出に伴い、2002年に中国へ進出した。現在、機械加工の大半を中国で行い、設備設計や最終組み立てを日本の本社工場で行っている。「生産性と技術・技能の向上を至上命題に掲げ、技術者の育成にも注力。さらなる高みを目指している。」

(桑名)

トヨタ系向けFA設計・制作



自動車部品などの生産工場におけるFAの設計・制作を手がけている

と幅広く取引している。良率を下げるために、設計
本社工場は、3DCAD 図面の入念なチェックなど
(3次元設計)を用いた図 徹底的に。その結果、5
面の設計や中国工場加工 10%の生産性向上が見ら
れたという。収益体質につ
ている。また、中国では加 いて後藤社長は「筋肉質に
工できない、大型部品や特 なってきた」と成果を感じ
殊部品 修正が必要な部品 ている。
加工も担う。 一方、技術・技能面では、
同社は生産性と技術・技 取引先のデンソーへ社員を
能の向上に力を注ぐ。生産 出向させ、新しい技術や技
性では、作業工程を見直し 能を学ぶことを欠かさな
無駄な時間を省くことや不 い。毎年必ず1人は参加さ

常に先端技術を学び技能向上

せているという。「新しい技術が日々生まれているなか、先端技術を常に学び、技能も磨いていかないと生き残ることはできない」と強調する。
社員の平均年齢は38歳。ピーク時(08年ごろ)の45歳から若返っている。団塊の世代が一線から退いたことに加え、毎年2〜3人を新規採用しているためだ。そのため、ベテランから若手への技術継承も力を入れている。

<メモ>本社=桑名市和泉678▽電話=0594・22・4151▽設立=1960年▽従業員=75人▽連結売上高(中国子会社3社を含む)=約15億円(2016年1月期見通し)